

# 東金市立東小学校

## 1 学校の紹介

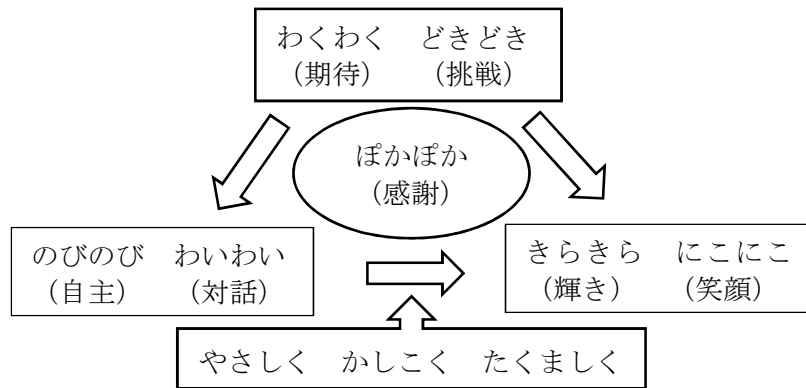
### (1) 学校と地域の概要

本校は、千葉県東金市の北東部に位置し、学区は、農村地域と一部の市街地の田園地帯からなり、交通網の発達とともに、求名、田間地域を中心に大規模な宅地開発が行われ、都市化が進んでいる。23学級、628名の児童数で、郡内2番目に大きい学校である。保護者は教育に対する関心が高く、学校に対して協力的である。

### (2) 学校教育目標

本校の教育目標は、「ひとみ輝き 笑顔いっぱいの 東っ子」である。「やさしく かしこく たくましく」を求め、期待、挑戦、自主、対話、輝き、笑顔のサイクルと「感謝」という相関図のもと、仲間を大切に、進んで夢や目標に向かってチャレンジする児童の育成を目指している。

#### 《東っ子「願い」のサイクル》



### (3) 読書活動に関する目標

#### ア 読書活動のねらい

- ・ 図書館に親しみ、読書を楽しむことができる。
- ・ 図書館にある本や資料を有効に活用し、自ら考え問題を解決することができる。

#### イ 読書活動の目指す児童像

- ・ 読書の楽しさや喜びを感じる子
- ・ 想像力を広げたり、共感したりすることができる心豊かな子
- ・ 新しい知識を得たり、疑問を解決したりできる子
- ・ 表現力豊かな子

#### ウ 学年の指導目標

- ・ 全学年 読書の時間を通して本に親しみ、自分の世界を広げる。

	読 書	資料活用能力
低学年	やさしい読み物に興味を持ち、進んで読む。(習慣付け・楽しさを味わう)	総合的な学習、各教科等さまざまな学習の中で、各学年の発達段階や実態に応じて積極的に図書館を利用する。それを通し、目標を持
中学年	さまざまな分野の本をたくさん読む。(幅広い読書・量的な向上)	

高学年	目的や意図に応じて、本を選んで読む。 (主体的に読む・質的な向上)	って調べることの有効性や、新しい知識を獲得する楽しさを知る。 (主に中・高学年)
-----	--------------------------------------	---

## 2 自校の図書館の現状

### (1) 整備状況

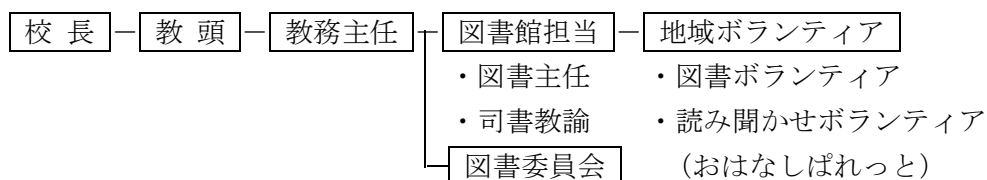
- ・蔵書冊数 13,940冊 学校図書館図書標準の達成状況 123%
- ・図書はデータ化されていないため、図書貸出カードに記入している。  
(現在データ化を進めている。)

### (2) 利用状況

- ・昼休みに図書委員による図書貸出カードを利用した貸出
- ・学級・学年文庫は自由に貸出

## 3 司書教諭及び図書主任等の教員・担任の取組

### (1) 校内組織と主な役割

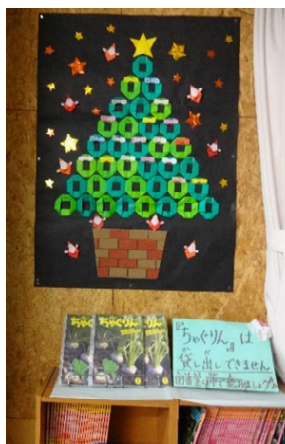


### (2) 児童や教員に対する支援

ア 学校図書館の運営に関すること

○学校図書館の整備

【季節に合わせた掲示】



【新しく入った本の紹介】



【座って読めるスペース】



○図書委員会の活動

- ・本の貸出返却・図書の整理整頓 (昼休み)
- ・おすすめの本の紹介・図書クイズ
- ・学級文庫の入れ替え

おすすめの本の紹介



イ 図書推進活動に関すること

○朝読書 (月～金曜日 8:05～8:15)

- みんなで読む**・児童も教師も全員、同じ時間に同じ条件で全校一斉に取り組む。
- 毎日読む**・継続して取り組むことで読む力を付け、読書習慣を身に付ける。
- 好きな本を読む**・読む本は子供自身に選ばせる。・事前に選ばせておき、時間内は他の本と取り替えない。・公共図書館利用の呼び掛けや、家から本を持参したりするよう連絡する。
- ただ読むだけ**・感想文や記録の類は求めない。

○読み聞かせ

毎週火曜日に、地域ボランティア（おはなしばれっと）の方に読み聞かせをしていただいている。季節に合った本や話題の本、児童がなかなか手に取らないような本を読んでくださり、それがきっかけで児童が本に興味を持ち、読書の幅が広がっている。児童は毎週とても楽しみにしている。

毎年1・2年生対象に、「おはなしばれっと実演会」が5月に開かれる。絵本の挿絵を大きくスクリーンに映しての読み聞かせ、素話、手遊び歌、手作りカードを使った積み上げうた「これはのみのびこ」など、児童が「本って楽しいな。聞いてみたい。読んでみたい。」と思える素晴らしい読み聞かせの会である。

また、地域ボランティア（おはなしばれっと）の団体は、子どもの読書活動優秀実践団体として、平成27年度 文部科学大臣表彰を受けている。



ウ 学習等に関する支援 【学校図書館を利用した授業実践】

〈1学年〉

生活科	「いきものとなかよし」
活動	自分の捕まえてきた虫の飼い方や体の特徴などについて、図書を使って調べた。
成果	本や図鑑を見ながら、虫の特徴を捕らえながら、絵に描くことができた。わかったことを友達に教えたり、虫がいそうな所を探したりできた。
国語科	「のりものずかんをつくろう」
活動	自分の紹介したい乗り物の「やくわり」「つくり」「はたらきかた」を本で調べ、乗り物の紹介文を書き、世界に一つ「のりものずかん」を完成させた。
成果	初めはあまり乗り物に興味を持っていなかった児童も、多くの本に触れることで乗り物に興味をわき、紹介文を意欲的に書くことができた。

国語科	「おはなしどうぶつえんをつくろう」
活動	どうぶつの本を読み、おはなしどうぶつえんをつくった。
成果	動物が出てくる物語の本を読み、感想カードを書き、紹介し合った。多くの本を意欲的に読み、友達と話し合い、交流することができた。

〈2学年〉

国語科	「お話しじゅつかんを作ろう」
活動	自分の紹介したい話を学校図書館の本の中から選び、読んだ本の中で一番心に残った場面を絵に描き、題名を工夫して紹介した。
成果	自分の好きな本を紹介するという活動で、学校図書館のたくさんの本の中から選べるのが楽しかったようで、意欲化が図れ、進んで紹介することができた。
生活科	「生きものはっけん」
活動	捕まえてきた生き物の飼い方を学校図書館にある図鑑を使って生き物のくらし調べ、すみかを作って大事に育てた。
成果	今まで知らなかったえさのやり方や、すみかの作り方などを知り、意欲的に世話をするようになった。
生活科	「はなややさいをそだてよう」
活動	自分の育てる野菜の育て方について調べた。
成果	育てる野菜に合った世話の仕方を知り、自分の野菜を大切に育てた。また、友達が育てている野菜にも関心を持ち、様々な野菜について興味を持った。

〈3学年〉

国語科	「生き物のとくちょうをくらべて書こう」
活動	2つ以上の生き物の体の特徴や仕組みなどについて、図書を使って調べた。
成果	興味をもった生き物について、意欲的に調べることができた。本や図鑑の写真をみることで、特徴をより詳しく理解し、絵や文でまとめることができた。複数の生き物の体の特徴や仕組みなどを比較することができた。
総合的な学習の時間 「みんななかよし①」	
活動	障害のある人の生活やコミュニケーションの方法、困っていることなどについて図書を使って調べ、新聞にまとめた。
成果	障害のある人が生活しやすくなるための工夫や困っていることなどについて調べ、障害について理解を深めた。手話や点字などのコミュニケーションの方法や盲導犬や点字ブロック、車いすなどの安全に生活するための工夫を学び、身近なものとして捉え関心が高まった。また、自分にできることは何かを考えた。
総合的な学習の時間 「昔の人々のくらし」、社会科 「古い道具と昔のくらし」	
活動	昔のくらしの様子や道具について図書を使って調べ、グループごとに発表した。
成果	昔のくらしの様子や使っていた道具について調べ、現在のくらしとの違いや道具の進化を理解できた。個人で調べた中から、発表するものを選び、紙芝居やクイズ、劇などの方法で発表した。どの児童も意欲的に学習し、協力して発表できた。

〈4学年〉

国語科	「短歌の世界」
-----	---------

活動	秋にまつわる短歌を探し、視写をしたり想像した絵を描いたりした。
成果	秋の季語に興味を持ち、様々な表現があることを学んだ。現代との共通点や相違点に気づき、理解を深めた。児童の心に残った作品を、クラスで紹介し合い、短歌に一層興味を持つことができた。
国語科 「故事成語」	
活動	故事成語の成り立ちや意味を調べ、ノートにまとめた。
成果	故事成語の言葉だけでなく、成り立ちを調べ確認することで、意味をより深く理解することができた。また、使い方を知ることで、故事成語をより身近に感じることもできた。
総合的な学習「地球のためにできることを考えよう」、社会科「ごみのしよりと利用」	
活動	環境を守るための取り組みについて図書を使って調べ、わかったことをポスターや新聞にまとめた。
成果	環境を守るための工夫や努力について、図書を使ってより詳しく調べた。新聞やポスターにまとめ、発表することができた。発表を聞き、自分が調べた方法以外にも、図書を使って調べようとする姿が見られた。

〈5 学年〉

国語科 「俳句・短歌を作ろう」	
活動	優れた作品集や季語、歳時記などの図書を使って、俳句や短歌作りを行った。
成果	児童が心に残った作品や良いと感じた季語や言葉などを調べたことで、俳句や短歌作りへの意欲が高まった。俳句や短歌に関する語彙が広がった。調べたことをノートに書き溜めていったことで、俳句や短歌に限らず、さらに図書を利用しての語彙調べを意欲的に行うようになった。
総合的な学習の時間 「う米（うまい）！の不思議」	
活動	田植え、稲刈りの方法や稲の育て方について調べた。
成果	田植えや稲刈りの方法について調べ、実際の体験活動で安全に手際よく行った。稲の育て方を調べることで、学習のまとめの一助となった。また、農業を行うことの大変さも知ることができ、農家の方への感謝の気持ちを持つことができた。
総合的な学習の時間 「助け合う 社会」	
活動	福祉体験を行い、児童自身が設定した課題について、図書を使って調べた。
成果	福祉体験を行う前に、「バリア」「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」など日頃耳にするが、深く理解できていないことを調べることで、理解が深まった。児童が設定した課題に対して図書を使って調べることで、課題解決の一助となり、学習のまとめに役立てることができた。

〈6 学年〉

総合的な学習の時間 「私の夢・ぼくの夢につなぐ」	
活動	自分のなりたい職業について、図書を使って調べた。
成果	著名人の実体験を元に自分自身の夢について考えることができた。興味のある職業やなりたい職業について調べることで、どのような過程でその職業につくことができるかを知ることができた。ワークシートなどにまとめる資料となった。

総合的な学習の時間「日光・すてき・発見！」	
活動	目的地の自然環境や歴史など自分が関心を持ったことについて、図書で調べた。
成果	図書を利用し、目的地の自然環境や歴史など自分が関心を持ったことを、友達と共有しながら詳しく調べることができた。写真や地図など何度も見返すことができるので、自分の学びを友達と伝え合いながら計画を立てることができた。
国語科 「引用して話そう」	
活動	図書から名言などを集め、言葉や写真を適切に引用して、工夫して発表した。
成果	話す内容に応じて資料を集め、引用する箇所を選ぶことができた。図書を使うことにより、抱負や決意、将来の夢などについて何度も確認することができるとともに、言葉や写真を直接手元に置きながら話すことができた。

#### エ 学校司書や公共図書館との連携

本校には、学校司書はいないが2名の図書ボランティアの方が、学校図書館の環境整備(図書の配架・季節にあった掲示・修理など)の多くを担ってくださっている。そのおかげで、児童にとって、居心地のよい空間、読書をしたくなる環境となり、昼休みに学校図書館で本を読む児童も多い。

また、学習に必要な本は、公共図書館(東金市立東金図書館)の団体貸出を利用している。100冊ほどの本を1か月間借りることができる。自分で本を選ぶ方法と学習の目的やテーマに合った本を図書館員に選んでいただく方法がある。主に、教科や総合的な学習で活用している。子供の学習意欲も高まり、スムーズに調べ学習を進めることができる。夏休み前には、低・中・高学年ごとに「夏休みにすすめる本」という10冊ほどの本を紹介したリーフレットが児童全員に渡される。

#### 4 成果と課題(○成果 ●課題)

- 図書を活用した国語科の授業実践では、児童は学習のテーマに沿った多くの本を並行読書した。児童が主体的に読書をする姿が見られ、読書量も増え学習が深まった。また、教師も図書をどう授業に取り入れたらよいか試行錯誤し、図書を活用した学習を実践することへの意欲が高まった。
- 公共図書館との連携を行い、学習に必要な多くの本を借りた。児童一人一人が本を手にとることができ進んで読んだり調べたりし、学習意欲が高まるのを感じた。
- 教育活動の中で学校図書館を有効に活用するためには、本年度の実践を年間指導計画に位置付けていく必要がある。
- 現在、学校図書館の図書がデータ化されていないため、どの本がどこにあるか検索することができない。しかし、7月に市内の小中学校の図書主任と教育委員会、公共図書館司書による「学校図書館と公共図書館の本と人のネットワーク化事業」会議が行われ、本年度から学校図書館のシステムとネットワーク接続を進めることとなった。学校図書館の本だけでなく、学年・学級文庫の本も行っている。これからどのようにシステム化し、どのように有効活用していくか共に考えていきたい。

## 第1学年 組 国語科学習指導案

指導者

- 1 単元名 おきにいのりものずかんをつくろう  
 (のりものをしょうかいしよう「はたらくじどう車」「のりものことをしらせよう」)

2 単元の見目

- 乗り物のやくわりやつくりに興味を持って教材文や乗り物の本などを読み、自分だけの乗り物図鑑を作ろうとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くことができる。 【B ウ 書くこと】
- それぞれの自動車の「やくわり」と「つくり」について、書かれている順序に気をつけて読むことができる。 【C 読むこと イ】
- 文の中における主語と述語との関係に注意することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(カ)】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・乗り物のはたらきやつくりに興味を持って教材文や乗り物の本などを読み、自分だけの乗り物図鑑を作ろうとしている。	・語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書いている。	・それぞれの自動車の「やくわり」と「つくり」について、書かれている順序に気をつけて読んでいる。	・文の中における主語と述語との関係に注意している。

4 単元について

(1) 本単元で行う言語活動

本単元では、「じぶんだけのお気に入りののりものずかん」を作るというめあてをもち、「好きな乗り物についての紹介文を書く」という言語活動を位置づけた。教材文「はたらくじどう車」で、それぞれの車の「やくわり」、「つくり」、「はたらくすがた」を読み取りメモにまとめる。それと同様に、自分の好きな乗り物についてメモにまとめ、そのメモをもとに説明する文章を書き、「のりものずかん」を完成させたい。

(2) 本単元で付きたい力

本単元では、小学校学習指導要領第1学年及び第2学年の「C 読むこと」の(2)言語活動例ウ「事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと」、「C 書くこと」の(2)言語活動例エ「紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりすること」にもとづいた学習として、「好きな乗り物についての紹介文を書く」という言語活動を設定した。

この言語活動を通して、指導要領「B 書くこと」の指導事項イ「自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」ウ「語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと」、イ言葉の特徴やきまりに関する事項(カ)「文の中における主語と述語との関係に注意すること」との関連を図っていく。

本単元は、「はたらくじどう車」と「のりものことをしらせよう」の2つから構成されている。「はたらくじどう車」は、説明文をどのように書けばよいのか、その書き方を知ることができる教材である。教材名にふさわしい4つの自動車を取り上げられ、用途に合わせてはたらく自動車について書かれている。それぞれが異なった「やくわり」をもつ

ているので、児童の視野を広げることができる。教科書には特徴的なつくりが写真で掲載されているので、これらの自動車を身近に感じることができない児童でも、写真と本文を照らし合わせて読むことで理解しやすいように構成されている。本文は、各段落が同じ文章構成で、「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」といった事柄の順序に沿って、論理的なものの見方や考え方を育てられるようになっている。また、同じ型の文章や接続語「ですから」を繰り返し使うことで、その役割を理解できるような教材である。「ですから」という接続語は、事柄の順序を説明する文章では重要な接続語である。本単元では、接続語「ですから」が前後の段落をつなぐ大切な役割を持っているということを学ばせ、接続語を使って文章の構成や文と文のつながりに注意して書くことができるようにさせたい。

「のりもののことをしらせよう」は、「はたらくじどう車」で学んだ説明文の書き方をもとに、自分の好きな乗り物の紹介文を書くという学習である。紹介文を書くにあたり、メモを活用することで、文章の構成を考える力をつけさせていきたい。

教材文を読んで、はたらく自動車について興味を深めた児童に、様々な特殊車両について説明した本を紹介し、並行読書を行う。「好きな乗り物についての紹介文を書く」で、説明の文章を書く際の素材としても活用できることから、自動車ごとの「やくわり」や「つくり」を絵や写真と関連づけながら読み取らせていきたい。

## 5 児童の実態

### (1) 実態調査

調査項目 児童	①書くことは好きですか。	②読むことは好きですか。	③乗り物は好きですか。	④図鑑とは、どんなものか知っていますか。	プレテスト			
					⑤バスは、どんなやくわりをしていますか。	⑥バスにはどんなものがついていますか。	⑦このじどう車はどのようなにはしりますか。	⑧（ ）にあてはまることばをえらびましょう。
	◎とても好き ○好き △あまり好きではない ×きらい			○はい ×いいえ	・おきやく ・はこぶ 2問中 ◎2問できた △1問できた ×できなかった	・ざせき ・つりかわ ・手すり 3問中 ◎3問できた ○2問できた △1問できた ×できなかった	・あんぜん にはしる 正答 ○ 誤答 ×	・ですから 正答 ○ 誤答 ×

以下 省略

### (2) 考察及び指導観

本学級の2/3以上の児童が、文章を読んだり書いたりすることが好きと答えている調査①②。実際の授業でも、国語科の学習で主人公の気持ちを考える活動や、生活科の学習で生活記録文に自分の言葉で文章を書く活動に意欲的に取り組む児童が多くみられる。しか



し、以前「たのしかったことをかこう」の単元において、メモを使って学習した際には、要点を短い言葉で書くことができず、長く読みづらい文章になってしまっていた。メモを詳しく書きすぎると読みづらくなるので、大事なことを短い言葉で書くことをしっかりおさえさせる必要がある。そこで、教室の前面にメモの書き方を掲示し常に意識させる。メモを使った学習は一度経験しているが、資料から必要な事項を見つけ出してメモを書くということにはまだ慣れていない。自分の選んだ乗り物の図鑑を作るためには、自分で「やくわり」や「つくり」を見つけ出すことが必要である。そのための手立てとして、本文や資料からメモを書くために必要な項目を見つけ出す際には、色別に線を引くようにさせる。そうすることで、「やくわり」や「つくり」がすぐに分かり、資料からでもメモを抵抗なく書くことができるようになる。書きすすめる時に抵抗が予想される児童（・・児）には、机間指導の際に手が止まっていたら、メモに書く言葉を一緒に見つけ出し、印を付けるなどしてメモに書き写せるようにする。

メモが完成したら、声に出して読むことで、正しく書いてあるか確かめさせる。読み返す視点としては、「、」や「。」が正しく書けているか、字の間違いはないかの二つを中心に扱う。慣れるまで、自分では見落とししてしまうこともあるため、繰り返し読み返す活動を行うことで、少しずつ自分で確認できるようにさせたい。

調査③の結果から、乗り物に興味のない児童が多いことが分かった。乗り物への興味が高まるように、学習の最初にはたらく車の DVD を見せる。また、教室内に乗り物絵本コーナーを設けたり、ミニカーなどを用意したりしていく。そうすれば、今まで乗り物に興味がなかった児童でも、たくさんの乗り物の中からお気に入りのものを一つ見つけ、意欲的に学習に取り組むことができるようになる。そこで、公共図書館と連携し、自動車や乗り物に関する本を90冊程度用意する。自動車や乗り物に関する本や図鑑など情報を集めることができるように、いつでも手に触れ読むことができる環境を整える。また、ミニカーを実際に見たり触ったりすることでも、その「つくり」を理解できると考える。その中から、「自分のお気に入りの乗り物」が見つけられれば、「書きたい、知らせたい」という意欲につながっていくだろう。また、朝の読書だけでなく、教材文を学習した後、乗り物の本を読むという並行読書を行いながら、乗り物の「なまえ」や「やくわり」、「つくり」について考えさせたい。

「つくり」という言葉については、「はたらくじどう車」の本文と写真を照らし合わせながら読み取り、その言葉の意味を理解させていく。紹介文を書くためのメモを作るときには、資料から自分でその乗り物の「つくり」を見つけなければならない。そのため、ここでしっかりと「つくり」の意味を理解させておく。

プレテストの結果、調査⑤を見ると、ほとんどの児童がバスの「やくわり」については答えることができた。しかし、調査⑥の結果から、三つの「つくり」を三問全て答えられた児童は、12名であった。間違えた児童の多くは、列挙を表す助詞「や」「も」も回答解答に入れてしまい、「つりかわや」「手すりも」を一つの言葉と考えたようである。また、接続語「ですから」の問題では、正答できた児童は13名であった調査⑧。文と文の前後関係を正しく読み取ることができていないためだと考える。説明文では、接続語が重要な役割を果たしている。しかし、児童は接続語がある説明文は初めてで、その読み取りにはまだ慣れていない。（・・）児は、文章を読み取ることに對してつまづきが見られる。内容を正しく読み取るための手立てとして、本文を視写させたり、繰り返し音読させたりしていきたい。

「はたらくじどう車」を読み取る際には、特に接続語のはたらきと書かれている内容の順序に気をつけて読み取らせていきたい。さらに、「ですから」という接続語は、敬体であることにも着目させ、短文作りなどを通して、常体との違いを理解できるようにさせたい。また、文中における主語と述語の関係に注意させるために、はたらくじどう車の特徴をメモにまとめる際に、自動車がどんな役割をしているか、それぞれの文の主語と述語の関係をおさえ、「ですから」によって文と文がつながっていることを理解させる。

## 6 単元の指導計画（全15時間）

次	時	学習活動と内容	○指導上の留意点 ※評価
一	1	○自動車の絵本のブックトークを聞く。「はたらく車」のDVDを見る。	※ブックトークやDVDを見てはたらく車に興味を持とうとする。（関：観察，発言）
	2	○「のりもののことをしようかいしよう」を読み、乗り物を紹介する文とそのメモの書き方を知り、「のりものずかん」を作る学習計画を考える。 <b>&lt;並行読書&gt;</b>	○見本を提示し、図鑑を作りたいという意欲を持たせる。 ○教師見本を提示することで、学習の目的を明確にし、児童が目的を持って学習に取り組めるようにする。 ※「のりものずかん」を作ることに興味をもとうとしている。（関：観察・発言）
二	3	○「はたらくじどう車」全体を読み「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」がセットで書かれているという構成をつかむ。	○「やくわり」「つくり」という言葉を確認し、文章の中でそれぞれどこに書かれているか確認する。 ○敬体で書かれていることをおさえる。 ※本文を読み、「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」を書き出すことができる。（読：発言）
	4	○バスの「やくわり」や「つくり」「はたらくすがた」を読み取り、メモを作る。	○文中における主語と述語との関係に注意させる。 ○大事なことを短い言葉で書くことをしっかりおさえさせる。（メモの書き方の約束） ○「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」に色別の線を引きメモを作りやすいようにしておく。 ○メモが完成したら、声に出して読ませ、正しく書いてあるか確かめさせる。 ※バスの「やくわり」や「つくり」「はたらくすがた」を読み取り、メモにまとめることができる。（読：メモ）

5	<p>○コンクリートミキサー車の「やくわり」や「つくり」「はたらくすがた」を読み取り，メモを作る。</p>	<p>○文中における主語と述語との関係に注意させる。</p> <p>○大事なことを短い言葉で書くことをしっかりおさえさせる。(メモの書き方の約束)</p> <p>○「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」に色別の線を引き，メモを作りやすいようにしておく。</p> <p>○メモが完成したら，声に出して読ませ，正しく書いてあるか確かめさせる。</p> <p>※コンクリートミキサー車の「やくわり」や「つくり」「はたらくすがた」を読み取り，メモにまとめることができる。(読：メモ)</p>
6	<p>○ショベルカーの「やくわり」や「つくり」「はたらくすがた」を読み取り，メモを作る。</p>	<p>○文中における主語と述語との関係に注意させる。</p> <p>○大事なことを短い言葉で書くことをしっかりおさえさせる。(メモの書き方の約束)</p> <p>○「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」に色別の線を引き，メモを作りやすいようにしておく。</p> <p>○メモが完成したら，声に出して読ませ，正しく書いてあるか確かめさせる。</p> <p>※ショベルカーの「やくわり」や「つくり」「はたらくすがた」を読み取り，メモにまとめることができる。(読：メモ)</p>
7	<p>○ポンプ車の「やくわり」や「つくり」「はたらくすがた」を読み取り，メモを作る。</p>	<p>○文中における主語と述語との関係に注意させる。</p> <p>○大事なことを短い言葉で書くことをしっかりおさえさせる。(メモの書き方の約束)</p> <p>○「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」に色別の線を引き，メモを作りやすいようにしておく。</p> <p>○メモが完成したら，声に出して読ませ，正しく書いてあるか確かめさせる。</p> <p>※ポンプ車の「やくわり」や「つくり」「はたらくすがた」を読み取り，メモにまとめることができる。(読：メモ)</p>
8	<p>○例文を参考に「ひこうき」の「なまえ」「やくわり」</p>	<p>○文中における主語と述語との関係に注意させる。</p>

	9	<p>「つくり」「はたらくすがた」の観点でメモを作る。メモをもとにして紹介文を書く。</p>	<p>○大事なことを短い言葉で書くことをしっかりおさえさせる。(メモの書き方の約束)</p> <p>○「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」に色別の線を引き、メモを作りやすいようにしておく。</p> <p>○メモが完成したら、声に出して読ませ、正しく書いてあるか確かめさせる。</p> <p>○紹介文を書く際には、マスを使った文の書き方や句読点の使い方について確認する。</p> <p>○「ですから」は、必ず入れて書くように指導する。</p> <p>※興味を持って乗り物の本を読もうとする。(関：観察，発言)</p> <p>※「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」の観点のメモをもとに紹介文を書くことができる。(書：メモ，紹介文)</p> <p>※詳しいはたらきを導く敬体の接続詞「ですから」を使うことができる。(言：紹介文)</p>
10	本時	<p>○自分の選んだのりものを「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」の観点でメモを作る。</p>	<p>○文中における主語と述語との関係に注意させる。</p> <p>○メモの書き方の約束を掲示し、意識させる。</p> <p>○「なまえ」「はたらき」「つくり」「はたらきかた」に色別の線を引きメモを作りやすいようにしておく。</p> <p>○メモが完成したら、声に出して読ませ、正しく書いてあるか確かめさせる。</p> <p>※「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」の観点のメモをもとにメモを書くことができる。(書：メモ)</p>
11		<p>メモをもとに、のりものの紹介文を書き、推敲する。</p>	<p>※間違いを直したり自分の考えがより明確になるように適切な表現に変えたりすることができる。(書：紹介文)</p>
12	・	<p>推敲した文を、原稿用紙に</p>	<p>※推敲した文章を正しく丁寧に清書することができる。(書：紹介文)</p>
13	・	<p>清書しのりものの絵を描く。</p>	
三	14	<p>のりものの図鑑を読み合</p>	<p>※作品を読み合い友達の作品の良さを見つけようとする。(関：観察，発言)</p>
	15	<p>う。</p>	

7 本時の指導（10 / 15）

(1) 目標

○自分の選んだ乗り物について「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」の観点でメモを書くことができる。 (書くこと)

(2) 展開

時配	学習活動と内容	指導上の留意点 ※評価	資料・教具
3	1 前時の学習内容を確認し、本時の学習のめあてをつかむ。	○「はたらくじどう車」の読み取りを通して学習した紹介文の書き方を提示して、乗り物の紹介文を作るという意欲を持たせる。	前時までの学習の掲示資料
	のりもののことをしらべてメモにかこう。		
25	2 乗り物についてのメモを書く。 ・前時までのメモの資料を見ながら、メモの書き方を確認する。  メモのかきかたのやくそく ・みじかいことばでかく。 ・かんたんにかく。  ・乗り物の資料に引いた色別の線を参考に「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」のメモを書く。  乗り物の名前・・・赤 やくわり・・・青 つくり・・・緑 はたらくすがた・・・オレンジ	○メモを詳しく書きすぎると文章との区別がつきにくくなり、読みづらくなるので、短い言葉で簡潔に書くということを確認する。 ○「はたらくすがた」は、教科書同様、多くても2つまでにさせる。 ○メモが早くできた児童には、メモの書き方の約束を守ることができているか、確認や見直しをさせる。 ○メモが書けない児童には、書く言葉を一緒に見つけ出し、印を付けるなどしてメモに書き写せるようにする。 ※「なまえ」「やくわり」「つくり」「はたらくすがた」の観点で簡潔に分かりやすくメモを書くことができたか。 (書：ワークシート)	メモの書き方に関する掲示資料①  自分が紹介する乗り物の図書資料 メモを書くためのワークシート メモの書き方に関する掲示資料②  ヒントカード (「は」「のりものです。」 「ですから、」 「がついています。」)
15	3 メモをもとに口頭作文をつくり、紹介文を書く準備をする。 ・前時までの学習を振り返りながら、紹介文につながるような口頭作文のつくり方を確認する。	○接続語などのはたらきに気を付けてわかりやすい口頭作文ができるよう声かけをする。 ○メモから口頭作文にできない児童には、接続語などが書かれたヒントカードを提示する。	

2	4 次時の学習内容を確認する。	<p>○ . . . 児は、机間指導の際に声をかけて励ましたり、必要に応じてヒントカードを提示したりする。</p> <p>○ 口頭作文をもとに、紹介文を書くということを確認する。</p>	
---	-----------------	---	--

(3) 板書計画

はたらくすがた	つくり	やくわり	なまえ
がついています。	ですから	のりものです。	は

メモのかきかたのやくそく

- ・ みじかいことばでかく。
- ・ かんたんにかく。

のりもののかきかたをしらべてメモにかこう